

# 海の路

Vol. 34

S E A R O A D 2 0 2 2

S E A R O A D 2 0 2 2

## 会員構成

### 大阪ブロック

大阪府 泉佐野市  
大阪市 泉南市  
堺市 阪南市  
岸和田市 忠岡町  
泉大津市 田尻町  
貝塚市 岬町  
高石市

### 徳島ブロック

徳島県 小松島市  
徳島市 阿南市  
鳴門市 松茂町

### 香川ブロック

香川県 三豊市  
高松市 土庄町  
丸亀市 小豆島町  
坂出市 直島町  
観音寺市 宇多津町  
さぬき市 多度津町  
東かがわ市

### 兵庫ブロック

兵庫県 相生市  
神戸市 加古川市  
姫路市 赤穂市  
尼崎市 高砂市  
明石市 南あわじ市  
西宮市 淡路市  
洲本市 たつの市  
芦屋市 播磨町

### 愛媛ブロック

愛媛県 伊予市  
松山市 四国中央市  
今治市 西予市  
宇和島市 上島町  
八幡浜市 松前町  
新居浜市 伊方町  
西条市 愛南町  
大洲市

### 和歌山ブロック

和歌山県 湯浅町  
和歌山市 広川町  
海南市 日高町  
有田市 由良町

### 岡山ブロック

岡山県 笠岡市  
岡山市 備前市  
倉敷市 瀬戸内市  
玉野市 浅口市

### 周防灘ブロック (山口・福岡・大分)

山口県 福岡県  
下関市 北九州市  
宇部市 荏田町  
山口市 大分県  
防府市 大分市  
岩国市 別府市  
光市 佐伯市  
柳井市 中津市  
周南市 臼杵市  
山陽小野田市 津久見市  
周防大島町 国東市  
上関町 姫島村  
平生町

### 広島ブロック

広島県 大竹市  
広島市 東広島市  
呉市 廿日市市  
竹原市 江田島市  
三原市 海田町  
尾道市 坂町  
福山市 大崎上島町

### 国会員

近畿地方整備局 九州地方整備局 中国運輸局  
中国地方整備局 近畿運輸局 四国運輸局  
四国地方整備局 神戸運輸監理部 九州運輸局

## 協議会Webサイト「海の路」



<https://www.uminet.jp>



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

海の路 Vol. 34

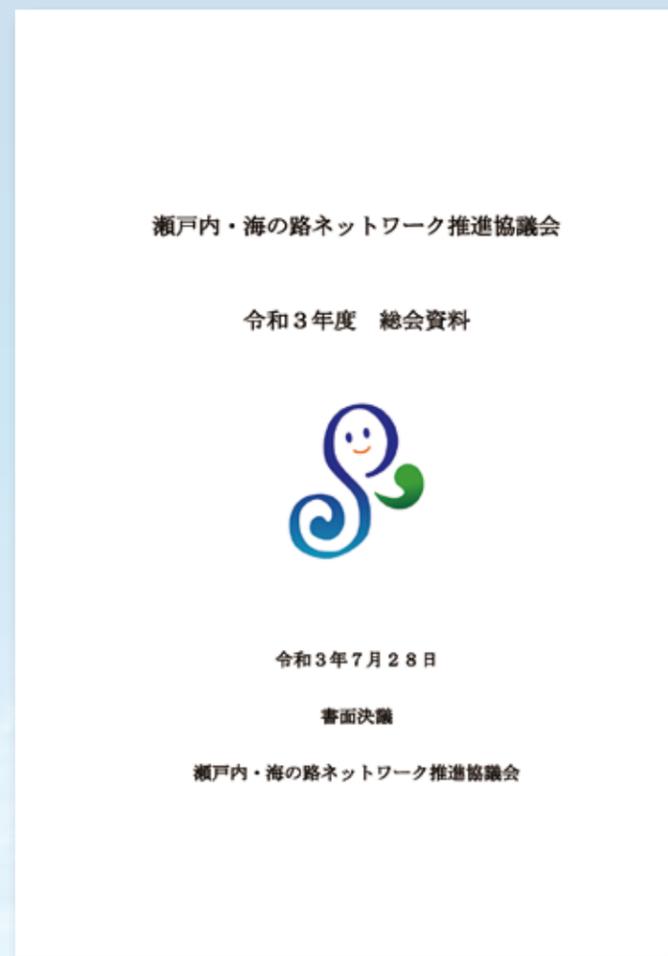
瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

発行/瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会事務局  
協議会Webサイト「海の路」<https://www.uminet.jp>

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 総会・担当者会

令和3年度総会

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 令和3年度総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年7月28日、書面にて開催しました。



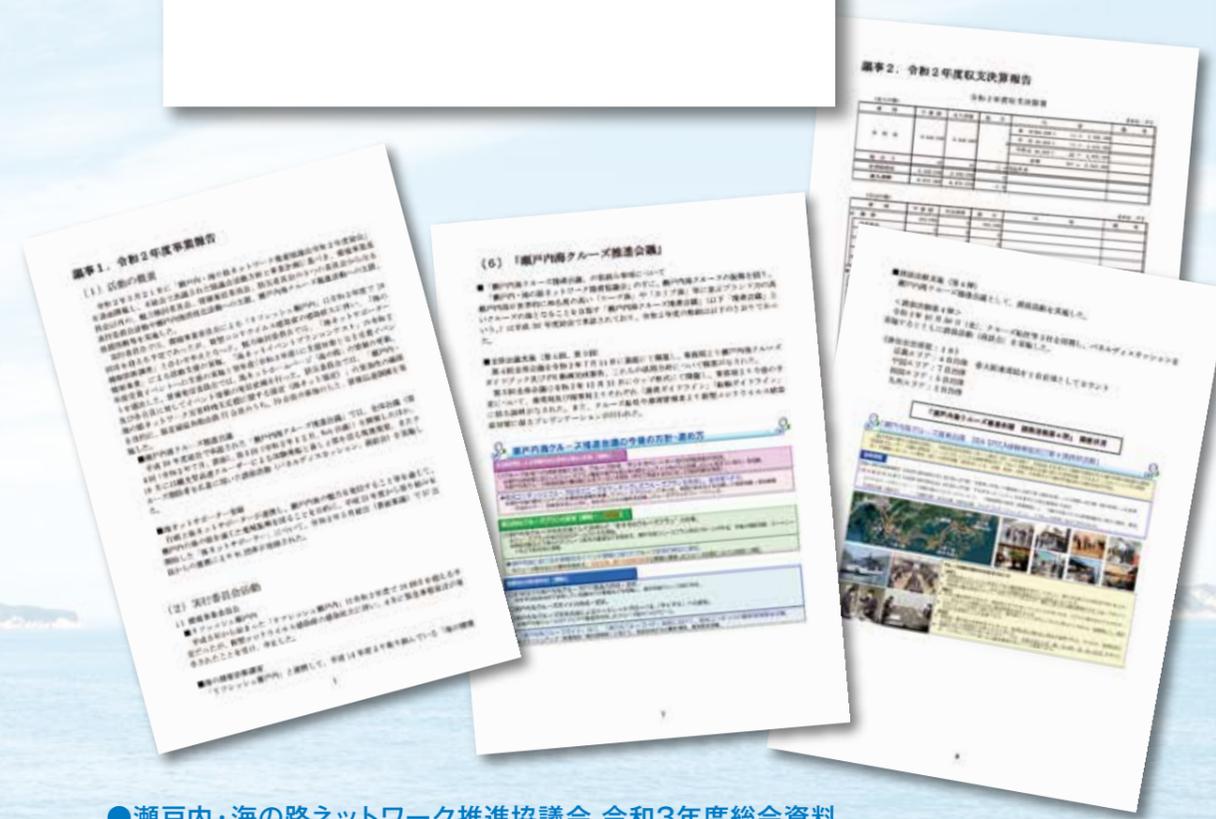
令和3年度担当者会

令和3年12月23日、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 令和3年度担当者会をオンライン形式で開催し、会員である各自治体及び各地方整備局の担当者等、約120名が参加しました。本会では、総括事務局(中国地方整備局)、各実行委員会事務局(四国、近畿、九州の各地方整備局)より令和3年度の事業報告、令和4年度の活動方針の提案等について説明があり、これに対して活発な議論が行われました。

担当者会の開会にあたり、当協議会の幹事長である、山縣真紀子広島市都市整備局などと振興課長より、「新型コロナウイルスの感染拡大が始まってから早2年になろうとしており、この間、感染対策をしながら、また先の見通しがなかなか立たないといった中で、海ネットの活動を進めていくことの難しさ、参加者の皆様の多くが感じてこられたと思います。また、従前のように各地からお集まりいただき対面で開催するということが難しく、書面での協議ということで対応しましたが、本担当者会につきましては、ウェブ会議で開催される運びとなりました。参加者も非常に多く、改めましてこの会議の開催に御尽力をいただきました関係者の皆様に感謝を申し上げます。」と開会挨拶をいただきました。



オンライン開催の担当者会の様子



●瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 令和3年度総会資料  
[https://www.uminet.jp/img/info/info\\_20211015\\_101409.pdf](https://www.uminet.jp/img/info/info_20211015_101409.pdf)

## 令和3年度事業報告

## 全体会及び分科会（実行委員会）

全体会第一部では、令和3年度の活動報告として、事務局より「瀬戸内海クルーズ推進活動支援」、「海ネットサポーター提案事業」、「海ネットイベントプランコンテスト」等の各支援事業の申請状況や実施済み事業の報告、瀬戸内海クルーズ推進会議の活動報告が行われました。その後、分科会においては、「魅力検討委員会」「環境事業委員会」「情報発信委員会」「防災委員会」の各実行委員会事務局より令和3年度の活動報告が行われるとともに、令和4年度の活動内容について活発な議論が交わされました。分科会終了後の全体会第二部においては、各分科会における議論の概要について報告があり、令和4年度の活動内容について提案がなされました。

**「リフレッシュ瀬戸内」実施要領**

○実施期間・全体拠点地など

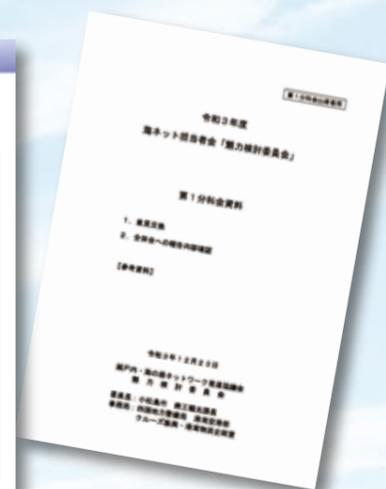
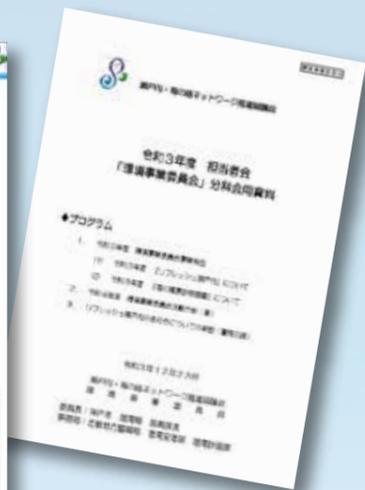
- 毎年6月1日～8月31日
- ※上記実施期間にかかわらず、会員が実施する海岸清掃活動は「リフレッシュ瀬戸内」として実施することができる。
- 全体拠点地  
例年、幹事会・総会までに決定予定(令和元年度 広島県坂町)
- 各ブロック拠点地  
全9ブロック(大阪府・兵庫県・和歌山県・岡山県・広島県・香川県・徳島県・愛媛県・高松県)よりそれぞれ1つ拠点地を設定。  
※全体・各ブロック拠点地では、全体・ブロック内のPRの場としての活動を行う。

○全体・ブロック拠点地への支援制度

補助金額:全体拠点地 10万円、その他の拠点地は一律 8万円

補助対象:広報・PRを中心に活用  
(例)ポスターの印刷、環境啓発グッズ等のノベルティの配布

※補助金について、事前審査及び精算は行わないものとする



**『令和4年度 海ネットイベントプランコンテスト』について**

■審査方法  
公平性・透明性を確保し、応募のあった全ての企画について、全会員による審査（書類審査）により、受賞企画を決定する。

■書類審査  
(応募のあった全ての企画について全会員による書類審査により受賞企画を決定)  
集まったイベント企画について、全会員に対して書類審査を依頼する。  
審査に際し、各会員には3票の投票権が与えられ、良いと思われる3つの企画に投票できる。  
※1つの企画に複数票を投じることは出来ない。(その場合は無効票として扱う)  
投票結果は事務局が集計し、最優秀賞、優秀賞、奨励賞を決定する。  
※応募してきた企画が3件に満たなかった場合は、どの賞が与えられるかの投票を実施する。

■各賞について  
支援金額は、次のとおりとする。  
○最優秀賞 50万円(イベント支援金としての上限額)  
○優秀賞 30万円( )  
○奨励賞 20万円( )  
同数票の場合、支援金額が同額となるよう調整する。(最優秀と準優秀の票数が同じ→40万円づつ)

■結果報告  
3月に受賞企画及び各賞の発表を行う。  
幹事会に担当者会からの提案事項として報告し、次年度総会での議決事項とする。

### 環境事業委員会

環境事業委員会では、事務局より令和3年度の活動報告及び令和4年度の活動方針案について提案を行い、その後、骨格事業として継続実施している「リフレッシュ瀬戸内」のあり方について意見交換を行いました。

令和3年度の活動報告において、昨年度中止になった「リフレッシュ瀬戸内」については、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しブロック拠点の選定を行わない等、例年どおりの実施とはならなかったものの、中国・四国地方を中心に94箇所の海浜で清掃活動が実施され、9,452人のボランティアの方々参加により、約95トンのゴミが回収されたことについて報告がありました。

令和4年度の活動方針としては、更なる参加者の増加を目標に、例年通りポスター・HP等での宣伝活動を行うほか、効果的な宣伝活動の一つとして環境関連行事等との連携活動を実施し、より効果的な宣伝活動を行った場合は、費用の一部を協議会から支援し、活動を助成すること

### 魅力検討委員会

魅力検討委員会では、令和3年度活動報告として、「海ネットイベントプランコンテスト」、「瀬戸内海・海の路利用振興事業」、「海ネットサポーター提案事業」に関して報告がありました。

また、令和4年度活動方針として、瀬戸内海の特徴を活かした各種イベントへの積極的な支援や、瀬戸内海の魅力の発信と会員相互間の交流・連携を推進し瀬戸内・海の路の利用促進を図ることを確認しました。

加えて、「海ネットイベントプランコンテスト」で選ばれた事業や、受賞イベントのうち令和4年度以降に延期するイベントも併せて積極的に支援すること、「海ネットサポーター提案事業」のほか、「瀬戸内海・海の路利用振興事業」において令和3年度から新たに支援している「係留施設利用手続きの電子化の提案事業」を継続的に実施し、会員間の連携により瀬戸内海の利用振興を推進することと一致しました。

とを確認しました。しかし、地域によっては令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが懸念されるため、マスクの着用や手指消毒等の感染防止策を徹底したうえで清掃活動を実施することのほか、上記の宣伝活動及び支援の実施有無については、感染拡大による影響を鑑み、改めて検討することと了承されました。

「リフレッシュ瀬戸内」に関する意見交換では、各地域におけるコロナ禍での清掃活動について議論しました。令和3年度に清掃活動を実施した地域においては、地域住民のみによる実施、規模を縮小した実施等の工夫したやり方について、中止した自治体からは中止に至った経緯等、今後のコロナ禍における清掃活動の実施判断をするうえで、参考となる情報提供がなされました。このほか、参加者より海洋プラスチック問題等の環境に関する取組について情報提供がなされる等、有意義な意見交換となりました。

## 情報発信委員会

情報発信委員会では、活動方針として、海ネットの活動を効果的に発信するとともに、より多くの方々に瀬戸内の魅力を認識していただき、興味をもってもらえるよう情報発信を継続していくこととし、WEBサイト「海の路」等を積極的に更新していくことを確認しました。

令和3年度は、各会員が自身でWEBサイト「海の路」を更新できることを周知するとともに、改めて全会員に操作マニュアルを配布する等、情報発信を促しました。しかしながら、WEBサイト「海の路」の閲覧状況を分析したところ、4月～9月の総アクセス数は63,855件と、前年と比較し4,139件増加している一方、会員によるイベント情報の発信は3件にとどまっている点を課題として共有がなされました。

意見交換では、各会員のイベント情報を事前に共有し、その情報を元に掲載を促す手法の提案や、掲載可能な内容を明確にすれば掲載しやすいのではとの意見がありました。また、SNSの活用や各会員のホームページにWEBサイト「海の路」のリンクを付ければアクセス数が増えるのではないかなどの意見もありました。



WEBサイト「海の路」へのアクセス数(年間・月間)

## 防災委員会

防災委員会では、令和3年度の活動報告及び令和4年度の活動方針について議論を行いました。

令和3年度の活動報告としては、「①防災委員会活動内容等の情報発信について」、「②防災対策推進活動支援事業の制度の周知について」、「③実効性の確保に関わる活動(情報伝達訓練)について」の3点となりました。

①情報発信は、海の路ホームページを利用し、防災委員会の活動計画等を掲載している点を報告しました。また、令和3年度の新規協定締結はなかったことを報告しました。(現在77会員)

②防災対策推進活動支援事業制度について、海の路ホームページを通じて広報活動を行っていることを報告した他、当制度の利用を呼びかけました。

③令和3年11月16日に情報伝達訓練を実施し、情報伝達の流れを確認しました。また、アンケート結果を踏まえた反省点や意見について情報共有し、令和4年度にはそれらを踏まえた訓練を計画することを報告しました。

令和4年度の活動方針としては、引き続き締結会員の拡大を図り、「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」第12条(協定の実効性の確保)に向けての訓練を実施し、さらに協定会員を含めた海ネット会員による「防災対策推進活動支援事業」が広く活用されるように広報を行うことを確認しました。

# 令和3年度 分科会(実行委員会)活動報告

## 魅力検討委員会活動

### 「海ネットイベントプランコンテスト」への支援

瀬戸内の豊かな自然環境や歴史的な地域文化の保全・継承、瀬戸内ブランドの価値の向上などを目的とした、オリジナリティ溢れる地域活性化イベント等への支援を拡充するため「海ネットイベントプランコンテスト」を実施しています。

「海ネットイベントプランコンテスト」は、事前に企画した瀬戸内の魅力を向上させるイベントプランを会員から募集し、全会員による投票により支援対象イベントを決定、賞に合わせた支援を行うものであり、継続的に実施しているイベントの発展、目的意識の明確化、会員間の情報交換の促進などの効果を期待するものです。

なお、令和3年度に実施する予定であった令和2年度受賞イベント2件については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度に延期することとなりました。



活気に満ちた鮮魚販売の様子

初開催のSea級グルメは多くの来場者で賑わいました



最優秀賞

## 和歌浦漁港朝市しらすまつり with Sea級グルメ和歌山

会 員 .. 和歌山市(和歌山県)

開催日 .. 令和3年11月3日(水・祝)

内 容 .. 瀬戸内海・和歌浦湾に面した和歌浦漁港を中心に、和歌浦を愛する想いを持った個人や事業者が集まり、地域ぐるみで、港を中心に賑わい創出を目指すイベントであり、今回で31回目を迎えました。「みなとオアシス和歌山」の会場内では、鮮魚販売や飲食等の露店をはじめ、紀州よさこい演舞や餅まきなど、様々な催しが開催され、港全体が活気に満ちていました。また、地元を愛する人々に育まれてきた「紀州東照宮」の例大祭「和歌祭」のブースを設置し、大切にしてきた地域の歴史を広く知ってもらう活動も行われました。今回は、これまでの取り組みに加え、みなとオアシスの「Sea級グルメイベント」を初開催し、これまで以上に港を中心とした地域の活性化を目指した。「Sea級グルメ」を食べて、投票する「イベント」はインパクトがあり、「楽しかった」という声もあり、同イベントの総投票数は想定より多く、用意した投票券が不足した店舗もある等、多くの来場者で賑わいました。

魅力検討委員会活動

「海ネットイベントプランコンテスト」への支援



海藻標本づくり



海藻を丁寧に水洗いする様子

会 員…松山市(愛媛県)

開催日…令和3年8月8日(日)

内 容…北条鹿島は海水浴場や展望台などの自然を満喫できる施設や、炊事棟やシャワー場などのキャンプ施設、北条地域(旧北条市)の自然環境を学ぶことができる「北条鹿島博物館」があり、松山市の観光地として多くの方が訪れています。北条鹿島の多彩な自然を知ってもらうことを目的に、ハイシーズンである夏に毎年実施している海藻標本づくりは、今年で64回目を迎えました。近年、磯焼けの影響で海藻の確保が困難になっている中、当日は親子合わせ56名の参加があり、鹿島近辺の自然の魅力を伝えることができました。参加者からは「海藻を広げることが難しかった」「色々な海藻を知ることが出来て楽しかった」との声がありました。



選んだ海藻を標本にする様子

「瀬戸内のブランド化に向けた官民連携活動(海ネットサポーター提案事業)」

官民連携による瀬戸内の新たな賑わいを創出するため平成23年度に制度化された「海ネットサポーター」は、設立当初の55団体から91団体(令和3年総会時点)にまで拡大しています。  
「海ネットサポーター提案事業」は、行政である会員と民間の海ネットサポーターが連携した瀬戸内のブランド化に向けた地域振興への取り組みに対して支援を行うものであり、令和3年度は1件の事業を実施しました。

しものせきクルーズフェスタ2022

会 員…下関市・山口県 海ネットサポーター…下関港湾協会

開催日…令和4年3月19日(土)・20日(日)

内 容…新型コロナウイルス感染症の船内感染で生じたクルーズのイメージ悪化・誤解を解くとともに、クルーズの「安全性」「魅力」「楽しさ」「地域経済への貢献」等を正しく紹介することを目的に「しものせきクルーズフェスタ2022」を開催しました。当日は、船社や専門家を招聘した基調講演やパネルディスカッション(啓発系イベント)、船社PRブースや抽選会(集客系イベント)、クルーズロードショーやクルーズ入門講座(体験系イベント)を行い、地域住民のクルーズに対するイメージの向上を図りました。なお、本フェスタは瀬戸内・海の路ネットワーク活用推進協議会の後援により開催したものです。



しものせきクルーズフェスタ2022開催状況

**しものせき Shimonoseki Cruise Festa**  
**クルーズフェスタ2022**  
高い感染症対策に基づく、クルーズの楽しさや魅力などをお伝えします。 3/19日・20日  
場所 シーモール下関 参加費 無料

**クルーズ船社PRブース**  
国内外のクルーズ船社がPRブースを出展します。今話題のクルーズ船、数にもなるクルーズ船の魅力を直接お話しします。  
\*場所:シーモール2階コンコース  
\*日時:19日土18:00まで/20日日17:00まで

**クルーズロードショー**  
各クルーズ船社が、クルーズ設備等を使って、船旅の楽しさ・魅力をお伝えします。  
\*場所:シーモールシアター(シーモール2F)  
\*日時:19日土・20日日 各日5回開催  
\*11:45・12:45・14:00・15:15・16:30  
\*開催時間:各回30分 \*定員:各回70名(先着順)

**クルーズ入門講座**  
クルーズ旅行は、リーズナブルな価格から高級の船まで様々。楽しい旅を持てば船先を移動する必要もなく、目が覚めたら次の目的地!クルーズ入門講座では、クルーズのフロアが在内の生活+アクセスコード+船酔いなど、皆さんの疑問+不安を解消します。  
\*場所:シーモールシアター(シーモール2F)  
\*日時:19日土・20日日いずれも10:30~11:00  
\*定員:各回70名(先着順)

**クルーズクイズラリー**  
クルーズのクイズに全問正解して、抽選会に参加しよう!  
\*場所:シーモール2階コンコース  
**クルーズ抽選会**  
船内では購入できないクルーズグッズなどが当たる抽選会です。1等はMSCベリタマMSCクルーズ社、約17万円のバルコニー付きキャビン(国内行きクルーズ!)  
\*場所:大丸下関店4階  
\*参加条件:クルーズクイズラリーに参加して条件を達成した方(参加は一人あたり1回限り)

共催/下関市・下関港湾協会・山口県  
問合せ先/TEL.083-231-1277(下関市港湾局振興課)

**みなとオアシス Sea級グルメ**  
全国大会 in八幡浜  
日時 令和4年11月12日(土)・13日(日)  
会場 みなとオアシス八幡浜みなと  
入場 無料

**全国大会**  
みなとオアシスが、Sea級グルメNo.1を決定する!

日本中のみなとまちの「うまいもの」が、八幡浜港に大集合!  
全国各地のみなとオアシスが集結し、名産品や特産品、オリジナルグルメなどを販売します。

みなとオアシスSea級グルメ全国大会in八幡浜の告知

- 最優秀賞 第13回みなとオアシス Sea級グルメ全国大会in八幡浜 (愛媛県八幡浜市)
- 優秀賞 令和4年度 北九州港開港記念イベント (福岡県北九州市)
- 奨励賞 第35回記念 トライアスロン中島大会 (愛媛県松山市)

また、令和4年度のイベントプランを募集し、全会員による審査投票の結果、受賞企画が決定しました。

## 環境事業委員会活動

### リフレッシュ瀬戸内の開催について 全体拠点レポート

令和3年6月1日から8月31日の間、「受け継ごう、きれいで豊かな瀬戸の海」を合言葉に28回目となる「リフレッシュ瀬戸内」を開催しました。今回は、瀬戸内沿岸各地の94箇所で開催され、9,452人のボランティアの方々が参加し、約96.9トンのゴミを回収しました。

今後も、瀬戸内海をはじめとする地元沿岸の環境美化に対する意識を高めるとともに、豊かな自然を受け継いでいくため、この活動を継続していきたいと考えています。



令和3年度リフレッシュ瀬戸内の様子

### リフレッシュ瀬戸内の実施規模の推移

年度	実施箇所数	参加人数(人)	回収ごみ量(t)	1人当たり回収量(kg)	備考
平成5年度	175	66,000	660.00	10	概算
平成6年度	125	56,000	770.00	13.75	概算
平成7年度	220	65,000	770.00	11.85	概算
平成8年度	266	76,641	1,188.40	15.51	
平成9年度	235	129,779	1,015.00	7.82	
平成10年度	251	134,511	1,234.50	9.18	
平成11年度	244	116,000	1,940.00	16.72	
平成12年度	264	110,400	1,069.00	9.68	
平成13年度	260	112,530	1,010.68	8.98	
平成14年度	272	129,250	1,100.40	8.51	
平成15年度	334	121,753	1,071.70	8.80	
平成16年度	303	112,952	1,032.30	9.14	
平成17年度	253	83,217	797.90	9.59	
平成18年度	267	71,717	598.00	8.34	
平成19年度	269	61,813	499.00	8.07	
平成20年度	322	62,615	514.00	8.21	
平成21年度	346	69,692	483.30	6.93	
平成22年度	276	52,158	445.90	8.55	
平成23年度	272	46,969	414.90	8.83	
平成24年度	309	48,667	407.80	8.38	
平成25年度	226	47,521	313.85	6.60	
平成26年度	256	46,809	305.88	6.53	
平成27年度	302	47,726	355.93	7.46	
平成28年度	268	42,600	351.52	8.25	
平成29年度	273	50,606	327.50	6.47	
平成30年度	213	36,159	194.20	5.37	
令和元年度	260	37,692	219.38	5.82	
令和2年度					中止
令和3年度	94	9,452	96.90	10.25	
合計	7,155	2,046,229	19,187.94		

## 情報発信委員会活動

### 「WEBサイト「海の路」を利用した情報発信について

情報発信委員会では、WEBサイト「海の路」の閲覧者を増加させ、より多くの方々に瀬戸内海の魅力を発信するために内容の充実を図っています。特に各会員自身により情報発信が可能なWEBサイトとなっており、各地で開催されるイベント情報をはじめとして、各地の魅力を自由に発信できます。

会員がより新しく、より多くの情報を安心して発信できるよう、改めて操作マニュアル等を周知するとともに、システム構成環境のアップデートや、セキュリティの改良も行いました。

過去のアクセス状況の解析を行ったところ、月に約1万件の閲覧があり、閲覧数は年々増加傾向にあるため、各会員が発信する情報が閲覧者の目に留まる可能性も高まっています。また、「もっと見やすい、且つ、もっと見ていただける」を目的とし、モバイル版の追加など様々なユーザーに合わせたデザインにリニューアルしており、今後、各会員が発信する情報が充実していけば、閲覧者の更なる増加、ひいては瀬戸内海に興味を持つ人の増加も期待されます。



海の路ネットワーク

<https://www.uminet.jp>



リニューアルした「海の路」WEBサイト

## 防災委員会活動

### 海ネット協定に基づく 情報伝達訓練を実施

令和3年11月16日「瀬戸内海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定(海ネット協定)」の実効性の確保を目的に、協定締結共同会員77会員のうち63会員が参加のもと、情報伝達訓練を行いました。

本訓練は平成25年度から毎年実施(平成28年度は熊本地震、平成30年度は大阪北部地震、7月豪雨の影響で未実施)しており、本年度も過去の訓練同様、情報伝達体制の確立と迅速な応援を重点項目として実施しました。

今回の訓練では、燦灘を震源とする直下型地震が発生し、中国・四国の5市町から応援要請があったことを想定して、協定締結会員間における物資支援の情報伝達を確認しました。

限られた時間の中で連の流れを確認することから、各行程において短時間での作業が必要となります。特に、応援とりまとめ幹事による応援会員と被災会員とのマッチング作業に時間と負担を大きく要することが、以前からの課題でした。

今回は開始時間を早め、マッチング作業の時間を長く確保し、容易に判断できるよう実施計画書の情報を充実させる等、作業時間の調整と短縮を図り、効率的に進められるよう配慮しました。

前年度から採用したメーリングリストでのやりとりや新様式の採用等、年毎に着実に訓練内容の改善が図られていると思います。次年度以降、訓練後のアンケートで新たに挙がった課題を踏まえ、さらなる効率的な訓練に活かしていきます。

## 瀬戸内海クルーズ推進会議

### クルーズ船誘致活動(商談会)

コロナ後のクルーズの本格的な再開に向けて、令和3年11月29日(月)、オンライン形式にてクルーズ船社等5社を招聘し、瀬戸内海クルーズ推進会議メンバーによる誘致活動(商談会)を開催しました。本誘致活動においては、これまでも取り組んできた寄港地の観光資源のPRだけでなく、クルーズ船内のレストラン等で使用される食材として、地元が自信を持って薦める特産品(岡山の桃やブドウ、宇和島の鯛等)のPRも行われました。

【開催日】令和3年11月29日(月)

【場所】オンライン会議(Microsoft Teams)

【内容】招聘船社等に対する瀬戸内海クルーズ推進会議メンバーからのプレゼンテーション及び意見交換

【参加者】招聘船社等：郵船クルーズ、日本クルーズ客船、

ゲンティンクルーズライン日本オフィス、  
MSCクルーズジャパン、JTBクルーズ部

推進会議メンバー：全11府県の自治体

大阪府、兵庫県、和歌山県、  
岡山県、広島県、山口県、徳島県、  
香川県、愛媛県、福岡県、大分県



瀬戸内クルーズ推進会議 商談会開催状況の様子

### 招聘船社等からの主なコメント

今後も瀬戸内海諸港へは寄港していくが、感染防止対策の観点から、クルーズ船を沖泊させて、通船で上陸する港湾(瀬戸田、御手洗等)への寄港はまだ難しい。

現在のコロナ禍において、外国クルーズ船の寄港再開の目処が立たず、新船の就航予定もあるものの、日本寄港は何ら決まっていない。

寄港地の観光スポット等において、コロナ対策がどれくらい行われているのか自分の目で確認するしかなく、チェックリスト等により地元自治体から情報提供されると大変ありがたい。

とびしま海道に注目しており、瀬戸内海汽船の観光型高速クルーザー“シースピカ”のような船が利用できれば、多彩な商品を展開できる。

## 防災委員会

「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」(以下、「海ネット協定」)の締結会員間における防災ネットワーク機能の強化のための情報共有や、情報伝達訓練及び基礎的防災訓練等を行っています。

また、平成25年5月には「海ネット協定」が日本港湾協会企画賞を受賞しました。

## 防災対策推進活動支援

1

### 制度の概要

災害対策基本法に基づき、陸路を活用した「防災訓練」のみならず、海の路を通じた人員・物資輸送ルート、被災者の緊急搬送ルート等を確認するための「防災訓練」を海ネット会員として実施し、海ネット協定の実効性の確認を更に進めていく。

2

### 支援内容

- ・海ネットとして共催・後援すること
- ・防災訓練を支援すること。
- ・必要に応じ、他の会員にも防災訓練への参加を呼びかけること。
- ・費用の全部、もしくは一部を海ネットから支援すること(限度額40万円)。

3

### 支援要件

- ・海ネット会員が実施する海の路を通じた「防災訓練」であること。
- ・なお、情報伝達訓練のみの実施も可とする。
- ・訓練概要と内容を取りまとめ、幹事会、担当者会、総会等を通じて会員各位へ報告すること。

## 令和3年度活動計画

- ①「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」について、引き続き締結会員の拡大を図るとともに、本委員会の活動内容等について積極的に情報発信を行う。
- ②「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」第12条(協定の実効性の確保)に向けての具体的な行動として、過年度の訓練やアンケート結果、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、訓練内容、実施体制や情報伝達の方法を検討する。また、「防災対策推進活動支援事業」が広く活用されるよう働きかけを行う。

～ 2023年瀬戸内探検クルーズ寄港予定地 ～



探検クルーズのイメージ (ポナン社HP等より)

瀬戸内探検クルーズセミナー

コロナ後のクルーズの本格的な再開に向けて、令和3年12月9日(木)、クルーズ業界で最も急成長していると言われる探検クルーズをテーマとしたセミナーを開催しました。探検クルーズとは、小型ラグジュアリークルーズ船(乗客定員100〜300名程度)と同船に搭載するゾディアックボートの機動力を活かし、小さな港町や秘境、大自然等を巡るもので、瀬戸内海クルーズ推進会議としても誘致に力を入れており、当日は同会議メンバー等、約70名が参加しました。

【開催日】 令和3年12月9日(木) 15時〜16時45分

【場所】 中国地方整備局港湾空港部会議室 オンライン会議  
(視聴者はオンライン形式で参加)

【内容】 ①世界に広がる探検クルーズ  
②2023年に予定している  
ポナン瀬戸内探検クルーズの概要  
③パネルディスカッション



瀬戸内海クルーズ推進会議、瀬戸内探検クルーズセミナー開催状況

瀬戸内海クルーズ推進会議 第6回全体会議

令和4年1月28日、アフターコロナにおける瀬戸内海クルーズの再興及び更なる振興を目指し、「瀬戸内海クルーズ推進会議」の第6回全体会議をオンライン開催しました。

会議には、近畿、四国、中国、九州地区より、瀬戸内海沿岸の自治体、国の機関、民間団体等の約100名が参加しました。

【開催日】 令和4年1月28日(金) 15時~16時45分

【場所】 港湾空港部会議室 オンライン会議 (Microsoft Teams)

【次第】 ①今年度の活動報告及び今後の予定

②最近のクルーズの動向について

③海外の旅客ターミナル等における新型コロナウイルス感染症対策

④観光型MaaS「setowa」取組み紹介

⑤瀬戸内クルーズネットワーク構想

⑥本四高速の地域連携への取組

⑦意見交換

瀬戸内海クルーズ推進会議  
第6回 全体会議概要

outline

国土交通省港湾局「最近のクルーズ動向」

日本においてはまだ国際クルーズを再開する環境にない。海外では欧米を皮切りに中東でも徐々に再開しているが、アジア・オセアニアは未再開。

みなと総合研究財団

「海外のターミナル等における感染対策」

各国ターミナルの感染対策、各国及び国際機関発出のガイドライン、オミクロン株の影響によるクルーズ動向及び市場の見通しについて紹介。

JR西日本デジタルソリューション本部

「観光型MaaS「setowa」」

MaaSアプリ「setowa」により、利用者は人気スポットや観光モデルコース等の情報が得られるとともに、経路検索結果からの各種予約、周遊バス等の購入が可能。エリア拡大、商品拡充も進み、利用者が大幅に上昇。setowaに参画する事業者は、チケットの電子化(キャッシュレス化)、利用者の各種データ(移動データ等)の入手等のメリットあり。

日本プロジェクト産業協議会

「瀬戸内クルーズネットワーク構想」

瀬戸内海の島旅クルーズ事業のマッチングさせる『島たびプラットフォーム』の設立、瀬戸内海諸港を母港とする『せとうちプラチナクルーズ』、観光客と住民が共生する『にぎわいみなとまちづくり』等からなる「瀬戸内クルーズネットワーク構想」の提案。

本州四国連絡高速道路(株) 本四高速の地域連携の取組

インフラツアーやSA/PAを拠点とした地域連携のみならず、塩飽諸島をはじめとする島旅の活性化、サイクリングルートのネットワーク化等、様々な取組みを実施中。



瀬戸内クルーズ推進会議 第6回全体会議の開催状況の様子

# 瀬戸内クルーズ推進活動支援報告

## 「にっぽん丸」寄港歓迎イベント

● 会員名…小豆島町

● 実施期間…令和3年11月25日(木)

● 実施概要…クルーズ客船「にっぽん丸」が「秋の香嵐渓・寒霞渓クルーズ」(横浜～蒲郡～小豆島～横浜 3泊4日)で小豆島(坂手港)に寄港しました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、例年行ってきた地元園児による記念品の手渡しは自粛せざるを得ませんでしたが、接触を避けた上での地元園児による鼓笛演奏及び地元有志による出迎えといった寄港歓迎行事を行いました。

また、客船及び乗船客への寄港記念品の贈呈や感染対策を行ったうえで観光案内を実施しました。本活動は、コロナ禍で観光産業が苦しい中、にぎわいの創出ができたことはもちろん、小豆島・瀬戸内海の魅力を広くPRし、瀬戸内海全域の活性化・振興を図るものとなりました。



臨時観光案内所を開設しました



記念品の贈呈



地元有志による出迎え



地元園児の鼓笛演奏による歓迎と出迎え



歓迎  
ようこそ オリーブの小豆島  
小豆島クルーズ